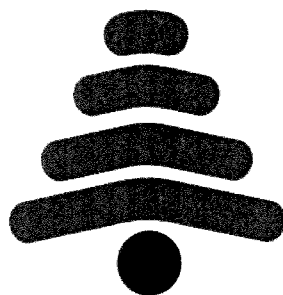


入試過去問題

(2025 年度入試)



東京立正短期大学
Tokyo Ritssho Junior College

東京立正短期大学 2025 年度入試過去問題

目 次

第 1 回一般選抜・一般選抜スカラシップチャレンジ <国語>	1
--------------------------------------	---

出典：真木悠介著／『時間という共同幻想』（「うつくしい道をしずかに歩く」所収）／（河出書房新社）

出典：上田紀行著／『ネガティブなことに大きな価値がある』から（「かけがえのない人間」所収）／（講談社現代新書）

出題のねらい	14
--------------	----

（著作物の二次利用の許諾を得ています）

.....

※第 2 回・第 3 回一般選抜スカラシップチャレンジの国語受験者がいなかったため、問題の掲出はありません。

東京立正短期大学

二〇二五年度

第一回 一般選抜・一般選抜（スカラシップチャレンジ）入学試験

国語問題用紙

- 一 監督者の指示があるまで本冊子を開かないこと。
- 二 試験開始後、本冊子は必要に応じて切り離して構わない。
- 三 解答用紙に受験番号、氏名を記入すること。
(試験監督者の指示に従って記入すること)
- 四 試験終了後、解答用紙、問題冊子ともに提出すること。
(商用利用・個人利用を問わず、入試問題の無断転載を禁ず)

一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(配点五〇点)

ナイル河上流に住むヌアー族について調査したエヴァンズ＝プリチャードは、かれらのあいだに「時間」ということばも観念もないことを報告している。「そのため、かれらは時間について、われわれがするように、それがあたかも実在するもののごとく、経過したり、浪費したり、節約したりできるものとしては話さない。かれらは、時間と闘ったり、抽象的な時間の経過にあわせて自分の行動の順序を決めねばならない、というような、われわれが味わうのとおなじ感情を味わうことは絶対にないであろう」(『ヌアー族』)。「この点、ヌアー族は幸せである」と、このイギリス人はつけ加えている。

〈時間〉という観念もことばも存在しないということは、アフリカの他の諸部族、東南アジアの山岳民族、アメリカの原住民などについても同様に報告されており、社会がある特性をもつようになるよりも以前の原始共同体には、普遍的なことだろうと思われる。

⑨ アメリカの原住民ホピ族のことばでは、これを調査したウォーフがくりかえしのべているように、〈過去〉と〈現在〉は区別されない。かつてあったものは、今あるものとおなじものとして感覚される。そして〈未来〉というものはなく、それに対応することがらは〈魂の中にあるもの〉というふうに考えられている。ただし魂とは人間の魂だけでなく、動物や植物や自然現象の「うら」である魂の中にあるものも含む。

⑩ ケニアのカムバ族の村に生まれ育ち、のちにケムブリッジなどに学んで牧師となったジョン・ムビテイもまた、故郷の人びとの世界の中には数カ月、あるいはせいぜい二年間以上も先の「未来」については、どんな観念も表現法もないということをのべている。また過去(サマニ)は現在と「重なり合い」ながら、人生の意味を支えて生きつづけている。アフリカ人からみると、無限の過去から未来へと一直線のように流れる。⑪ 西洋人の「時間」の観念は、奇妙な固定観念にみえる。

このような固定観念の支配ということは、じつは西洋でも、古いことではない。われわれがこんにち自明のものとしているような時間の存在(「絶対時間」)をはつきりと提示したのは、ニュートンがはじめてであるし、その⑫ 先駆者のベロウにまでさかのぼってもおなじ一七世紀のことである。それは近代世界というひとつの特異な世界の創世期に、デカルトの絶対空間と海峡をべだてて呼応しながら定式化されてきている。

絶対時間の観念はやがてニュートンの信仰をこえて、一切のものを^{えいじゅう}永劫の無のなかに運び去りながら均質に流れつづける〈時間〉の無限性として近代世界のわくぐみを形成し、われわれの生のゆくえをただ虚無でしかありえぬものとして指定する。ニーチェが時間を〈ニ

ヒリズムの元凶」としてとらえたのは、近代理性のあかるとい日常意識を^{いじま}围绕する不吉な闇をみていたからである。

現代の哲学や自然科学は、このような「絶対時間」の实在ということがすこしもたしかな根拠をもつものでないことをあきらかにしはじめている。◎それは人間が、あるいは文化が、世界をとらえるひとつの「仕掛け」にほかならないのだ。ニーチェのみた闇は、ほんとうは近代理性がみずからの外圍に◎分泌してしまう無限という闇なのだ。われわれはたぶん、〈時間〉というのがあることのできない^{わな}罠をみずからの外にはりめぐらせながら、生をむなしものとしている。

けれども今われわれが明らかにしなければならないことは、このような〈時間〉の文化的相対性それ自体ではもはやなく、A 反対に、われわれの日々の生活の中でこれほどにも強固な「自明性」をもつ〈時間〉の实在という觀念が、どのような現実的な◎シタイを根拠として存立しているのかということである。

〈時間〉という抽象のないヌア一族にも、待ち合わせたり出発を共にする必要がある。かれらはそれを、その生活の中心である牛の動きを目安として調整する。「乳しぼりのときに」とか「仔牛の戻るころ」というわけである。それはアンダマン島民たちの「花のにおいによる暦」とか、古代日本の「潮時計」とおなじにわれわれの◎郷愁をそそる。B この牛時計が通用するのは、ひとつの風土条件のなかで牛を生業の中心とするせまい共同体の中だけである。ヌア一族がもし他の動物あるいは植物Xを生業の中心とする部族xと深い交易関係に入れば、このx族との待ち合わせ等にはすでに、牛時計ともX時計ともことなる第三の時計を必要とするだろう。二部族の間であれば対照表ですむかもしれないが、C Y、Z、U、V、W等々を生業の中心とするY、Z、U、V、W族等々と多角的な生活依存関係を拡大してゆけば、この分業のシステムtに共通する尺度としてのT時間は、ますます抽象化せざるをえないはずである。その極限まで耐える尺度は、人類にとって普遍的な体験としてのこの惑星自体の自転や公転◎シユウキと、それは12や24や60という、約数の多い整数で除した単位であるほかはないだろう。それは、私的な幸福を追求しあう無数の見知らぬ他者たちの生活依存関係という、近代市民社会のモデルと同型のものがある。

これは近代世界における、機械的に数量化され、それゆえに抽象的に無限化されうる〈時間〉の存立のひとつの論理を、最大限に単純化してみたシミュレーション(◎モギ)にすぎない。それは〈共同態からの個の自立と疎外〉という事実と相即している。われわれの世界

の時間の存立のもうひとつの根拠はいわば〈自然からの人間の自立と疎外〉ともいうべきものであり、くりかえしのない〈現在〉とよみがえることのない〈過去〉という観念（時間の

D性）は、この要因にもとづいている。

〈時間〉の存立の機制についての展開をみじかい文章ですることは不可能だから、ここではその手前のところで、たしかなことだけを記してさしあたりの結語としよう。

一切を無に帰しながら永劫に流れつづける直線としての〈時間〉の實在という観念は、ひとつの共同幻想であるけれどもそれを、われわれが頭の中で自由な意思によって消去することはできない。それは、もうひとつの共同幻想である貨幣とおなじに、けれどもいつそう基礎的な水準において、市民社会の関係の客観性がかたがた存立させてしまう物神として、われわれの生活の現実のうちに根をもつ幻想のかたちだからである。それはわれわれの生がこのようなものであるかぎり、**E**他者との関係性と自然との関係性とは現在のようであるかぎり、その生活の仕方自体の影として存立してしまう幻想である。

（真木悠介『うつくしい道をしづかに歩く』より）

問一. ——— ①⑥の、カタカナは漢字にし、漢字はひらがなで読み方を書きなさい。

問二. 空欄 A、B、C、E に入る最も適当なものを、次の1から5の中からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。ただし、同じものを繰り返し使ってはいけない。

- 1 さらに 2 すなわち 3 けれども 4 いわば 5 むしろ

問三. ——— ㊤「この点、ヌアー族は幸せである」とイギリス人が考えるのはなぜか。その説明として最も適当なものを、次の1から5の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 「牛時間」という、独自の生活様式を持っているから
- 2 12や24や60など、抽象的な時間の観念を覚えたり、学んだりする必要がないから
- 3 生活の中心である「牛」に合わせて、のんびりとした時間を過ごしているから
- 4 自分の行動の順序を抽象的な時間の経過に合わせて決めたり、時間と格闘したりする必要がないから
- 5 アンダマン島民の「花の匂いによる暦」や古代日本の「潮時間」のように、郷愁をそそる時間が与えられているから

問四：—— ㊤「アメリカの原住民ホド族」と、—— ㊦「ケニアのカムベ族」における「時間」の特徴について、それぞれ「過去」・「現在」・「未来」という言葉を用いて簡潔に述べなさい。

問五：—— ㊤「西洋人の「時間」の観念」について、本文中の語句を用いて四十字以内で説明しなさい（句読点を含む）。ただし、「無限の過去から未来へと一直線のように流れる」は使用しないこと。

問六：—— ㊦「それは人間が、あるいは文化が、世界をとらえるひとつの「仕掛け」にほかならないのだ」という一文を言い換えている言葉を、本文中から抜き出しなさい。

問七：空欄 D に入る最も適当な表現を、次の1から5の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 不可避 2 不可能 3 不可逆 4 不可分 5 不可解

問八：このエッセイのタイトルとして最も適当なものを、次の1から5の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 時間の存立の機制
2 人間の自立と疎外
3 時間という共同幻想
4 T時間の普遍性
5 他者との生活依存関係

二．次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（配点五〇点）

現代は、ポジティブでなければだめだ、ポジティブなことが多ければ多いほどいいと、ネガティブなことはどんどん㊤ハイジヨしようとする社会です。ネガティブなことが起こりそうになったらできるだけ回避しようとする。そうして、人生でネガティブと思われることをどんどん抑圧して、人生の表面をなるべく明るく整え、これ以上ないくらい明るい世界を歩んでいくのが一番いい生き方であるかのように、みな生きています。

学校でも、暗い子どもは、先生もなんとなくいやだなあと感じてしまいます。誰もが明る

くへきへきとしていて、ニコニコとコミュニケーションを取り合っていて、明るさに満ち、暗い闇のようなものが微塵もないのがいいクラスである、と思うようなところがあります。暗い子がいたり、^⑨カットウを抱えたりするのは、それ自体よくないことなのではないか、とってしまうところがあるのです。

友達付き合いでも、暗いことを言う友達は嫌がられることが多くなっています。やっぱり明るい人がいい、ネガティブなことは自分も言わないし、友達も言わないという関係がいちばんいいということになっているかのようです。「あいつ暗いよな」というのは非常に強い言葉です。

ある時期までの日本では学生はみな暗いもので、大学生が酒を飲んだりすると、暗い話を陰々滅々と語り続けたものでした。けれども今暗い話をする、あいつは暗い奴だということになって、それは全否定の言葉であるといつてもいいような状況になっています。

暗い、と言われるのはお前はダメだという烙印を押されるのと同じ、ということになっていますから、若者たちはいかに自分を暗く見せないかということに苦心しています。テレビのお笑い番組が、質はともかく量的にどんどん増えているのもその表れかもしれません。

^⑩表を書いてみましょう。

X軸とY軸で四つに分けます。X軸をエネルギーがある、エネルギーがない、の目盛りとします。Y軸は上が明るい、下が暗いと取ります。

そうすると四つの傾向が出ます。明るくてエネルギーがある、明るくてエネルギーがない、暗くてエネルギーがある、暗くてエネルギーがない、の四つです。

昔は暗くてエネルギーのある人がたくさんいました。酒を飲んでいて、暗くて陰々滅々とした話を延々と続けるのだけでも、人生を考えたりする持続的なエネルギーがある人が多かったのです。みんなで暗い話をしているけれども、夜を徹して話し合ったりする、その飲み会の場にはエネルギーがあつたものでした。

その反対に、いま多いのは、「明るくてエネルギーがない」若者です。一見明るくて元気そうだけれども実はエネルギーがなくて、何か薄っぺらいという感じがします。持続力もなく、明るさもエネルギーも長続きしない傾向があります。根拠のない明るさなので、何かにつまずいただけで明るさがなくなつて、すぐに暗くてエネルギーがない世界に転落していくということになります。その意味では、明るくてエネルギーがないというのと暗くてエネルギーがないというのは、実は非常に近いところがあります。

人間はエネルギーがあるかどうか、人間としての生命力があるかどうかということが重要なのではないのでしょうか。エネルギーや生命力があれば、人生どんなことがあっても生きていけるものです。

反対に、根源的な生きる力がなければ、明るくてもダメな時はダメになってしまいます。逆に言えば、生きる力が⑨衰退してきているからこそ、表面的な明るさ・暗さにこだわってしまうともいえるでしょう。

そう考えてみると、社会全体も、明るいけれどエネルギーがないという状態になってきています。明るいけれども生きる力を感じさせない人が増えているし、社会もちよっと明るさがかげると、エネルギー切れになって、一気に暗くなってしまう。そして、いつせいに問題が⑩噴出してきます。

もともと、昔は、暗いほうがいいんだ、社会に向かい合うこととは暗いものなんだ、とそこに凝り固まって必要以上に暗い人もたくさんいました。それはそれで困りもののところもあって、明るくてエネルギーのある人は正当に評価されなかったりもしました。

その意味では、今は明るくてエネルギーのある人は、昔よりは高く評価されるようになってきています。しかしその一方で、明るくてエネルギーのない人が増加していると私は感じています。

さて、そういった状況の中での、ポジティブとネガティブの意味について考えてみましょう。いま流行しているのは、これはポジティブ、これはネガティブと二分法で考えるやり方です。人生は全てポジティブに行けばいいという流れがそこにはあります。しかし、いったいそのポジティブというのはどういう意味なのでしょう。

みんながポジティブだと言っていることが自分にとってのポジティブなのでしょう。もしそうだとすれば、それは「……中略……」「世間の評価」と同じことです。「私」にとってポジティブということではなく、ポジティブの基準は世間にあつて、私は世間の価値判断に⑪シンクロされているということの裏返しでしかありません。

そうだとするならば、世間でネガティブだと言われていることこそが、自分にとってはますます重要になってきます。ポジティブなことを目指しても、よりいつそう社会からの評価に縛り付けられる自分になるだけで、自分自身の姿も見えてこないし、自分をめぐる社会のあり方も本当には見えてこないということです。

世間的なポジティブとは、いい高校に行っているとか、いい大学に行っているとか、お金がどんどん儲かっているとか、いい会社に勤め、会社の中で立派な地位についていて業績も上がっているとか、県庁職員になって親も⑫鼻高々とか、世間のみんなが同意するような「いいこと」です。

有名な大学に合格すれば、ふだん⑬疎遠な親戚のおじさんおばさんも「本当によかったね」と言ってくれます。お金が儲かっている状態、会社の業績が上がり、出世もしているということであれば、人生⑭順風満帆のように見えます。まったくポジティブな状態で、何の問題

もないといったところでしょう。

しかし、そういった「ポジティブ」な時に、実は表面上は明るくてうまくいっているようだけれども、裏ではいつのまにか士気が崩れ始めている、ということもあるのです。

お金が儲かっている、羽振りがいいということになれば、たくさんの人が友人の顔をして近づいてきます。私には多くの友人がいて愛されている、というふうに見えますが、いったん会社が傾いたりその人が病気になったりしてお金の回りが悪くなったとたんに、多くの友人達が逃げていってしまうということもよくあります。

お金というポジティブに見えるものがそこにあるからみんなが近づいてきたのです。お金に近づいてきたのであって、別にその人自身に近づいてきたのではないわけです。その人が破産したりして失意のどん底に落ちた時に、はたしてその人を助けてくれる人が何人いるのか、と考えてみれば、成功している時の交友関係をどこまで信じられるのかは、成功している時にはわからないということになります。

それはお金に限らず、高い地位にいたり、いい大学に合格した時のことについても言えます。有名大学に行っていたら親戚のおじさんおばさんもちやはやしてくれるかもしれませんが、大学を中退したということになったら、大学も卒業しないでどうしたんだ、あいつは落ちこぼれたということになって、親戚の中でも急に冷たい目で見られてしまう、そういうこともあるわけです。

そうすると、そこでのつながりは、はたして私自身とのつながりなのか、肩書きや地位、お金とのつながりなのか、ということになります。そして、単にお金や肩書きとつながっているのであれば、そのつながりは、「B」ということになります。お金や肩書きだけつながっている、お金を持っている人には人が集まる、お金がなくなった途端に人が去っていく。本当の自分、かけがえのない「C」な自分とつながっていたのではなく、お金を持っているという「D」とつながっていた、交換可能な部分とつながっていたということなのです。

一見友達に恵まれているようだけれども、本当に自分自身が人とつながっているのかという確信は、お金のある時には非常に持ちづらいのです。

(上田紀行『かけがえのない人間』より)

問一. ①～⑥の、カタカナは漢字にし、漢字はひらがなで読み方を書きなさい。

問二. 空欄 A に入る最も適当なものを、次の1から5の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 ほめ 2 ののしり 3 けなし 4 にくまれ 5 きたない

問三. ——— ③「表を書いてみましょう」に続く文章に従って、実際に表を作成しなさい。
その際、x軸とy軸がわかるように座標軸の名前も表記すること。

問四. ——— ⑥「鼻高々」を五文字以内で言い換えなさい。

問五. ——— ⑩「順風満帆」の読み方を答えなさい。そして、この四字熟語の対義語として当てはまらないものを、次の1から5の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 粒々辛苦 (りゅうりゅうしんく)
2 艱難辛苦 (かんなんしんく)
3 天歩艱難 (てんばかんなん)
4 波瀾万丈 (はらんばんじょう)
5 好事魔多し (こうじまおおし)

問六. ——— ④「成功している時の交友関係をどこまで信じられるのかは、成功している時にはわからない」のはなぜか、筆者の考えに基づいて一〇〇字程度で説明しなさい。

問七. 空欄 B、C、D に入る最も適当な言葉を、次の1から5の中からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。ただし、同じものを繰り返し使ってはいけない。

- 1 業績 2 属性 3 素性 4 交換不可能 5 交換可能

受験番号

氏名

問一

①	せんくしゃ	②	ぶんび(つ)	③	事態
④	もようしゅう	⑤	周期	⑥	模擬

2点×6=12点

問二

A	5	B	3	C	1	E	2
---	---	---	---	---	---	---	---

2点×4=8点

問三

4

4点

問四

(ホビ族) 過去と現在に区別せず、未来は存在しない

4点

(カムバ族) 過去と現在に重なり合い、未来の観念や表現がない

4点

問五

、	お	た	か	も	実	在	す	る	ち	の	の	ニ	と	く	、	経	過	し	に	り
浪	費	し	た	り	、	節	約	し	た	り	で	き	る	ち	の	。〇				

6点

問六

〈時間〉の文化的目次を
外

4点

問七

3

4点

問八

3

4点

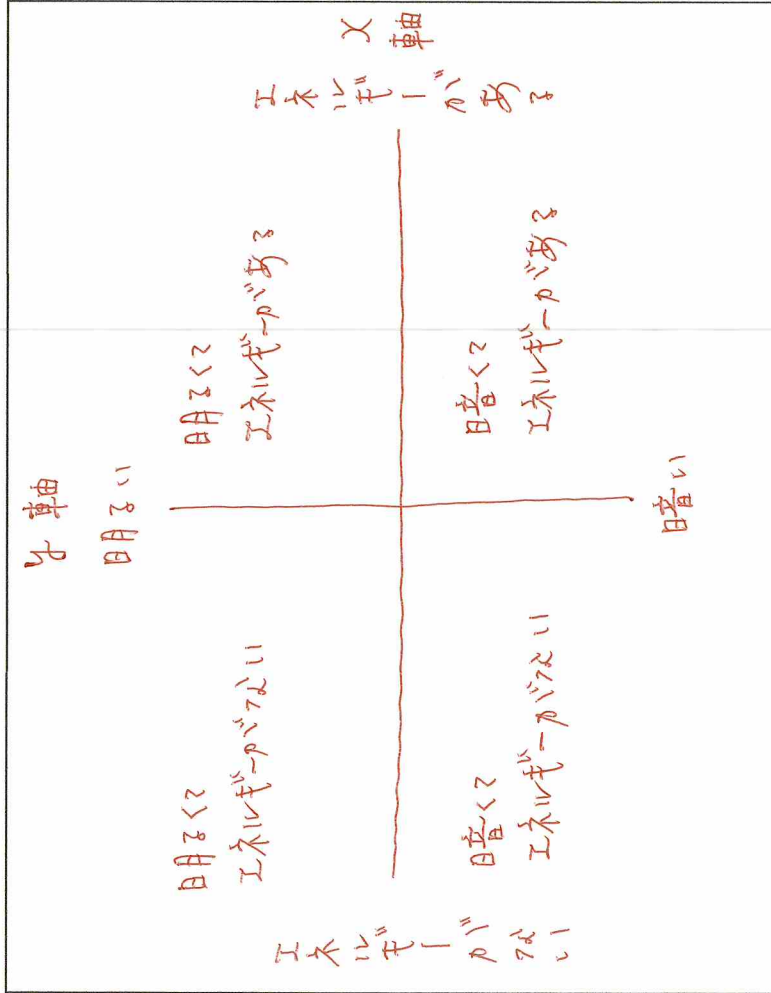
※ 出題二の解答欄は、次ページに続く

問四

得意意そり

(自慢げ) 4点

問三



X軸は逆でも正答とす

6点

問二

う

4点

(侵)でも正答

問一

④	ふんしゅつ	①	排除
⑤	浸食	②	葛藤
⑥	そえん	③	すいたい

(葛)でも正答

2点×6=12点

問五

(読み方) じゅんぷうまんぱん

(番号) 1

2点 x 2 = 4点

問六

の	自身	る	評価	成
つ	た	た	価	功
な	め	さ	さ	レ
バ	い	れ	て	て
リ	と	こ	い	い
ハ	な	友	る	る
判	バ	人	時	呼
断	り	か	に	に
て	ハ	ら	は	は
モ	い	な	愛	い
な	肩	バ	さ	世
い	書	り	水	間
か	き	バ	て	的
ら	や	い	る	な
。	地	は	ポ	ズ
	位	た	ジ	ン
	い	し	能	テ
	ち	て	性	イ
	金	自	バ	フ
	と	分	あ	ガ

8点

(マスは二〇字×六行＝一二〇字分用意してある)

問七

B	5
C	4
D	2

4点 x 3 = 12点

東京立正短期大学
入学者選抜(一般選抜・「国語」)
出題のねらい

■ **高等学校学習指導要領の内容**

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力。

■ **入学者選抜「国語」における問の概要**

異なる種類や分野の文章などを組み合わせた、複数の題材により、言語を手掛かりとしながら、文章から得られた情報を多面的・多角的な視点から解釈したり、目的や場面等に応じて文章を書いたりする力などを求める。

■ **主に問いたい資質・能力**

知識・技能

基礎的・基本的な知識・技能。また、それらを社会の様々な場面でバランスよく活用できる。

思考力・判断力・表現力・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ姿勢

必要な情報を知識・技能と適切に組み合わせ活用、および、適切に表現できる。